

子どもたちを“いじめ”から守るために

いじめはどの子にも起こりうる、どの子も被害者にも加害者にもなりうるという事実を踏まえ、お子様の尊厳が守られ、お子様をいじめに向かわせない未然防止のために、「いじめ発見のための観察ポイント（保護者用）徳島県教育委員会」を活用していただければと思います。以下のような視点からお子様の様子を確認してみてください。何か気になることがあれば、担任までご相談ください。

いじめ発見のための観察ポイント（保護者用）

～お子様に気になる言動はありませんか～

いじめが見えにくいのは、子どもが、親に心配をかけたくない、いじめられていることが恥ずかしい、いじめを告白したためによけいにひどくなる等と考えるため、事実を訴えることが少なく、必死に隠そうとすることが多いためです。しかし、いじめられている子どもたちの言動には、何かしらの変化が表れます。子どもの状態をよく観察していれば、いじめられている子どもの兆候を見つかることが可能です。日常のちょっとした変化に気づけるかどうか、発見のきっかけになります。

次の観察ポイントを参考に、子どもの日常を丁寧に見てあげてください。

第一段階

すこし気をつけて観察しましょう。

- 「いってきます」「ただいま」の声に元気がない。
- 弟、妹やペットに乱暴な態度をとる。
- 親への反発が強くなる。
- 食欲がなく、寝言等でうなされることがある。
- 勉強に身が入っていないように見える。
- 帰宅時に衣服が汚れていたり、破れていたりする。
- 最近、よく物をなくす。
- 学校のことを尋ねると「別に」「普通」等、具体的に答えない。
- メールやブログ等を今まで以上に気にしはじめる。
- 友達から呼び出されるようになる。
- 頭痛や腹痛を訴え、登校をしづらくなるようになる。
- 学校のノートや教科書を見せたがらない。（教科書への落書き、破れ。）
- 親の前で宿題をやらうとしない。（プリントへの落書き、破れ。）
- 学校行事に「来ないでほしい」と言う。
- すぐに自分の非を認め、謝るようになる。（隠したいことを詮索されたくない。）
- 学校からの通知、連絡帳等を見せなくなる。
- ぼーっと放心状態でいることがよくある。
- 何もしていない時間が多い。
- 倦怠感、疲労、意欲の低下が見られる。
- 無理に明るく振る舞っているように見える。

第二段階

いじめられている可能性を疑い、学校に相談しましょう。

- 「いってきます」「ただいま」を言わなくなる。
- 気分の浮き沈みが激しくなる。
- 弟、妹やペットにあたるが増える。
- 理由もなくイライラしている。
- 食欲がなくなり、家族と一緒に食事をしなくなる。
- 成績やテストの結果が急に下がる。
- 衣服の汚れが著しい。
- 物がなくなる理由を聞いても「わからない」と反発する。
- 学校のことを詳しく、具体的に聞こうとすると怒る。
- メールやブログ等、携帯電話を見ようとしなくなる。
- 携帯電話を家族に触れさせないようになる。
- いたずら電話がよくかかってくるようになる。
- ちょっとした音に敏感になる。
- 友達からの電話に「どきっ」とした様子を見せる。
- 親に聞かれないように、ひそひそ電話が多くなる。
- 学校や友達の話題を避けるようになる。
- 持ち物（教科書、筆箱等）への落書きがある。
- 衣服、靴等を親の知らないところで、自分で洗う。
- 原因不明の頭痛、腹痛、吐き気、食欲低下、痩せ等の身体症状が見られる。
- 登校をしぶる。
- 身体を見せたがらない。
- 外に出たがらない。外に出たときに周囲を気にしている。

第三段階

学校と連絡を取り合って対応しましょう。

- 急に誰かを罵る。
- かばんの中に「死ね」「バカ」等の手紙や紙切れがある。
- 身体（見えない部分）に理由のはっきりしない傷跡があり、隠そうとする。
- 身体にマジックによるいたずら書きがある。
- 急に友達関係が変わる。
- 友達から頻繁に呼び出される。
- 学校と家庭で話す内容に食い違いがある。
- 悪夢を見ているようで、夜中に起きることがある。
- 習い事を休むことが多くなり、急に「やめる」と言い出す。
- 「学校を転校したい」「やめたい」と言い出す。
- 金遣いが荒くなったり、親のお金を持ち出したりするようになる。
- 以前では考えられないような非行行動が見られる。（万引き等）
- 自傷行為（リストカット等）に及ぶことある。
- 日記等に「死」をほのめかすような文言が見られる。